



平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月6日

上場会社名 株式会社スズケン

上場取引所 東名札

コード番号 9987 URL <https://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務経理部長 (氏名) 野原 正伸

TEL 052- 961- 2331

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

平成30年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,031,762	1.4	9,280	48.6	13,773	27.6	9,225	29.6
30年3月期第2四半期	1,046,912	0.8	6,246	3.0	10,798	1.6	7,120	9.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 22,146百万円 (128.2%) 30年3月期第2四半期 9,705百万円 (111.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	97.42	
30年3月期第2四半期	74.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	1,166,848	425,095	36.4
30年3月期	1,173,326	406,425	34.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 424,337百万円 30年3月期 405,752百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		27.00		37.00	64.00
31年3月期		27.00			
31年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期期末配当金の内訳 普通配当27円00銭 記念配当10円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,081,700	2.0	21,550	9.2	30,450	4.9	20,100	6.8	212.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	103,344,083 株	30年3月期	103,344,083 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	8,642,236 株	30年3月期	8,648,337 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	94,697,950 株	30年3月期2Q	95,199,610 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等、先行き不透明な状況であります。

当社グループは、平成32年3月期を最終年度とする3ヵ年の中期成長戦略「One Suzuken 2019」の実現に向けて、お得意さまの真のニーズの追求と対応、多様な企業との協業による新たな機能やビジネスモデルの構築、さらに、低コスト経営の実現により更なる企業価値向上を目指しております。

当連結累計期間においては、スペシャリティ医薬品および再生医療等製品の流通モデル構築、ならびにMS※1の活動による新たな収益モデル構築に向け、多様な企業との協業を進め、「取引」から「取組」によるフィー獲得モデルへの転換を進めております。

具体的には、高度な温度管理が必要なスペシャリティ医薬品の新薬剤管理システムである「キュービックス」を全国の地域中核病院などへ導入を進めております。また、医療流通プラットフォームの機能拡充と強化を目指し、GDP※2に準拠した品質水準と効率的な医薬品共同配送を実現するために、子会社である中央運輸㈱が岩槻メディカルターミナルを構築し、さらにはアメリカソースバーゲンの子会社である「ワールド・クウリアー」と再生医療等製品分野における協業がスタートしております。

また、製薬企業向けの新たなプロモーション事業および製薬企業が行う業務改革を支援するBPO※3サービス事業構築に向けて、EPSホールディングス㈱と合弁会社「㈱ESリンク」を平成30年10月1日に設立しました。

このような取組みを含め、東邦ホールディングス㈱と顧客支援システムの共同利用および新たな流通モデル（後発医薬品・スペシャリティ医薬品）の共同展開について合意し、両社で様々な検討を進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆317億62百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は92億80百万円（前年同期比48.6%増）、経常利益は137億73百万円（前年同期比27.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は92億25百万円（前年同期比29.6%増）となりました。

※1 MS (Marketing Specialist) : 医薬品卸売業の営業担当者のこと。医療機関・保険薬局等を訪問し、医薬品の紹介、商談、情報の提供や収集を行う

※2 GDP (Good Distribution Practice) : 医薬品の輸送・保管過程における品質管理基準

※3 BPO (Business Process Outsourcing) : 自社の業務プロセスの一部を継続的に外部の専門的な企業に委託すること

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円未満切捨て)

セグメントの名称		平成30年3月期 第2四半期連結累計期間	平成31年3月期 第2四半期連結累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	1,000,855	987,778	△1.3
	営業利益	3,756	7,016	86.8
医薬品製造事業	売上高	27,149	24,029	△11.5
	営業利益	828	921	11.3
保険薬局事業	売上高	48,838	46,070	△5.7
	営業利益	1,229	347	△71.7
医療関連サービス等事業	売上高	24,811	28,747	15.9
	営業利益	465	658	41.5

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、抗悪性腫瘍剤の市場拡大があったものの、薬価改定および後発医薬品使用促進の影響により僅かながら縮小したものと推測しております。

そのようななか、売上高は、主に薬価改定の影響およびC型肝炎治療剤の販売減少により減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に加え、厚生労働省により策定された「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」に真摯に対応した結果、増益となりました。

これらの結果、売上高は9,877億78百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は70億16百万円（前年同期比86.8%増）となりました。

(医薬品製造事業)

売上高は、DPP-4阻害剤「スイニー錠」や高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」などを中心に販売促進に努めたものの、薬価改定および糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の特許切れに伴う後発医薬品の上市の影響などにより減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制により増益となりました。

これらの結果、売上高は240億29百万円（前年同期比11.5%減）、営業利益は9億21百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

なお、本年9月に、2型糖尿病治療剤「メトアナ配合錠」および慢性便秘症治療剤「ラグノスNF経口ゼリー一分包12g」の製造販売承認を取得いたしました。上市后、売上の早期最大化に向け取組んでまいります。

そう痒症治療薬SK-1405については、第Ⅱ相試験で期待していた有効性に満たなかったため、開発を中止しました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aおよび新規出店、薬局のかかりつけ機能強化の取組みを進めたものの、平成30年4月の薬価改定および調剤報酬改定の影響により減収となりました。

営業利益は、減収の影響により減益となりました。

これらの結果、売上高は460億70百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は3億47百万円（前年同期比71.7%減）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業（医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託）の受託が増加したことにより増収となりました。

営業利益は、メーカー支援サービス事業における増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は287億47百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益は6億58百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ64億77百万円減少し1兆1,668億48百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ211億14百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が48億82百万円、有価証券が64億2百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が311億20百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ146億37百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が11億57百万円、無形固定資産が9億99百万円減少したものの、投資その他の資産が167億94百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ251億47百万円減少し7,417億53百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が212億87百万円、未払法人税等が56億20百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ186億69百万円増加し4,250億95百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払が35億3百万円あったものの、その他有価証券評価差額金の増加が130億31百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益を92億25百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年10月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	194,969	199,852
受取手形及び売掛金	493,326	462,206
有価証券	41,705	48,107
商品及び製品	135,199	135,385
仕掛品	3,135	2,187
原材料及び貯蔵品	2,576	3,409
その他	27,227	25,298
貸倒引当金	△1,854	△1,273
流動資産合計	896,287	875,173
固定資産		
有形固定資産	118,581	117,423
無形固定資産		
のれん	1,396	1,124
その他	13,837	13,110
無形固定資産合計	15,233	14,234
投資その他の資産		
投資有価証券	109,672	127,122
その他	34,087	33,854
貸倒引当金	△536	△960
投資その他の資産合計	143,223	160,017
固定資産合計	277,038	291,675
資産合計	1,173,326	1,166,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	706,294	685,006
短期借入金	145	68
未払法人税等	9,860	4,240
返品調整引当金	524	497
賞与引当金	7,551	7,055
その他	13,801	10,691
流動負債合計	738,177	707,560
固定負債		
長期借入金	6	2
役員退職慰労引当金	502	361
退職給付に係る負債	3,146	3,148
その他	25,066	30,680
固定負債合計	28,722	34,192
負債合計	766,900	741,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	39,073	39,083
利益剰余金	340,639	346,361
自己株式	△27,040	△27,022
株主資本合計	366,218	371,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,621	56,653
土地再評価差額金	△5,821	△5,821
為替換算調整勘定	324	187
退職給付に係る調整累計額	1,409	1,349
その他の包括利益累計額合計	39,533	52,368
非支配株主持分	673	757
純資産合計	406,425	425,095
負債純資産合計	1,173,326	1,166,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,046,912	1,031,762
売上原価	956,445	941,870
売上総利益	90,467	89,891
返品調整引当金戻入額	543	524
返品調整引当金繰入額	495	497
差引売上総利益	90,515	89,918
販売費及び一般管理費	84,268	80,638
営業利益	6,246	9,280
営業外収益		
受取利息	186	163
受取配当金	869	780
受入情報収入	2,752	2,775
その他	943	1,050
営業外収益合計	4,751	4,770
営業外費用		
支払利息	28	27
不動産賃貸費用	110	118
その他	60	130
営業外費用合計	199	277
経常利益	10,798	13,773
特別利益		
固定資産売却益	22	265
退職給付制度移行益	—	232
その他	5	19
特別利益合計	28	517
特別損失		
固定資産除売却損	67	169
災害による損失	—	50
その他	5	12
特別損失合計	72	232
税金等調整前四半期純利益	10,753	14,058
法人税等	3,567	4,747
四半期純利益	7,185	9,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	64	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,120	9,225

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	7,185	9,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,503	13,031
為替換算調整勘定	△2	△3
退職給付に係る調整額	75	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	△132
その他の包括利益合計	2,519	12,834
四半期包括利益	9,705	22,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,640	22,060
非支配株主に係る四半期包括利益	64	85

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,753	14,058
減価償却費	5,456	5,287
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△391	△156
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△815	△662
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△512	△756
受取利息及び受取配当金	△1,055	△944
支払利息	28	27
固定資産除売却損益 (△は益)	44	△95
退職給付制度移行損益 (△は益)	—	△232
災害による損失	—	50
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,264	31,118
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△468	△74
仕入債務の増減額 (△は減少)	62,314	△21,284
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,210	△1,618
その他	225	128
小計	75,525	24,844
利息及び配当金の受取額	1,316	1,221
利息の支払額	△28	△27
災害による損失の支払額	—	△6
特別退職金の支払額	△68	△14
法人税等の支払額	△5,851	△9,255
法人税等の還付額	1,077	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	71,971	16,779
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,615	△9,802
定期預金の払戻による収入	618	5,988
有価証券の取得による支出	△7,200	△17,500
有価証券の売却及び償還による収入	9,200	14,100
有形固定資産の取得による支出	△2,919	△2,290
有形固定資産の売却による収入	49	701
無形固定資産の取得による支出	△821	△1,668
投資有価証券の取得による支出	△1,232	△1,048
投資有価証券の売却及び償還による収入	208	—
その他	158	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,555	△11,230

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	—
長期借入金の返済による支出	△4	△80
リース債務の返済による支出	△296	△278
自己株式の取得による支出	△6,897	△1
自己株式の売却による収入	3	—
配当金の支払額	△2,609	△3,502
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,824	△3,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54,587	1,669
現金及び現金同等物の期首残高	114,345	200,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	168,933	202,278

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	975,440	8,539	48,828	14,104	1,046,912
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,415	18,610	9	10,706	54,741
計	1,000,855	27,149	48,838	24,811	1,101,654
セグメント利益	3,756	828	1,229	465	6,279

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,279
セグメント間取引消去	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	6,246

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	962,903	8,617	46,061	14,180	1,031,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,874	15,412	9	14,566	54,862
計	987,778	24,029	46,070	28,747	1,086,625
セグメント利益	7,016	921	347	658	8,945

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,945
セグメント間取引消去	334
四半期連結損益計算書の営業利益	9,280

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。